

岩通計測がNewtons4th社と提携強化。 ダブルブランド製品を販売開始

- IWATSU-N4L パワーアナライザPPA55x1/PPA4500シリーズを発売 —
PPA55x1シリーズは先進の高調波・フリッカ対応規格
IEC61000-3-2/3(*1)及びISO17025(UKAS)(*2)に、クラスで唯一対応します
PPA4500シリーズはISO17025校正対応

岩通計測株式会社（本社：東京都杉並区、社長：齋藤 操、資本金：4億5千万円、以下：岩通計測）は2010年に国内独占販売契約を結んだ英国Newtons4th社と、より強固な関係を構築しました。

Newtons4th社のホームページはこちらです。 <http://www.newtons4th.com/>

主力商品のブランドを「IWATSU-N4L」とし、両社協力して国内市場の深耕を進めてまいります。その第一ステップとして「パワーアナライザPPA55x1シリーズ/PPA4500シリーズ」を新発売致します。

発売開始は、2014年3月4日です。価格は、PPA55x1シリーズが93万円から、PPA4500シリーズは、68万円（税別）から取りそろえています。

PPA55x1シリーズは、パワーアナライザとして、クラス唯一、ISO17025認証 / IEC61000-3-2/3規格（測定器の性能を示す認証校正）に完全対応しています。

岩通計測ではPPA55x1シリーズ/PPA4500シリーズを向こう1年間で150台の販売を見込んでいます。

Newton4th社 PPA55x1シリーズ/PPA4500シリーズ開発の背景

電力会社の電気に悪影響を与えるユーザの使用機器から発生する高調波、フリッカ(*3)防止のための世界規格があり、ISO17025 / IEC61000で定められています。機器の開発は最新版である下記の規格に対応する必要がありますが、現在これに対応する測定器がありませんでした。

今回発売するPPA55x1シリーズは最新のISO17025認証校正にクラス初の完全対応で、最新の機器開発に大きな貢献が期待できます。

一方、PPA4500シリーズは、正確さと高速FPGA信号処理を特長として、上位のPPA5500シリーズと下位機種PPA1500シリーズの中間に位置する第二世代のハイ・コストパフォーマンスのパワーアナライザとして投入します。

さらに位相精度は、PPA5500シリーズと同じ0.005度という優れた性能を持っているため、低力率のトランス損失、リアクトル損失、容量性デバイステストに理想的なモデルといえます。

*1:ISO17025/IEC61000-3-2/3

高調波 (IEC61000-3-2:2006+A2:2009,IEC61000-4-7:2002+A1:2009)

フリッカ (IEC61000-3-3:2013,IEC61000-4-15:2010)

*2:ISO17025 (UKAS)

N4L - UKAS Calibration Laboratory Number 7949

*3: 【フリッカ】

（flicker、フリッカ）は、蛍光灯やディスプレイに生じる細かいちらつき現象のことです。フリッカの生じているディスプレイや、ちらつきのある照明を長時間使っていると、疲労・めまい・吐き気などにつながる可能性があります。

【高調波】

電力システムに使用される電流・電圧の波形は正弦波を標準としています。これを基本正弦波と呼びます。

高調波は基本波に対し整数倍の高n次の波形を指しますが、基本波形は高調波が合成されると、電流・電圧波形が歪んだ波形となります。

工場や家庭に配られる電源システムに高調波が合成されると、雑音が発生したり、使用機器に不具合が生じることがあります。

Newton4th社との関係強化について

N4L社は1997年創業。イギリスに本拠地を置き、ヨーロッパではインピーダンスアナライザとパワーアナライザで高いシェアを有しており、その高い技術力には定評があります。社名の由来は、イギリスの著名な科学者アイザック・ニュートンのよく知られた三法則に、さらに4番目の技術革新を構築したいという意識の表れを「4th」として「Newton4th社」と名付けました。

岩通計測では2010年に日本での独占販売契約を結びましたが、パワエレ市場に力を入れている当社と、より関係を強固にするために、このたびのダブルブランド製品の発売にステップを上げました。今後は製品の相互乗り入れを含む開発にステップを進めて参ります。

計測器発売60周年の岩通計測と、新分野で深耕する両者のノウハウを持ち寄り、新たな展開を模索して参ります。

N4L社URL：<http://www.newtons4th.com/profile>

PPA55x1シリーズ / PPA4500シリーズの特長

1. 最新の高調波、フリッカ測定にクラス唯一のIEC61000-3-2/3規格対応

年々変化するこの分野のIEC規格に対応した製品を開発するには新しい測定器が不可欠です。新しい規格は以下に示します。

・ IEC61000-3-2/3

高調波 (IEC61000-3-2:2006+A2:2009, IEC61000-4-7:2002 + A1:2009)

フリッカ (IEC61000-3-3:2013, IEC61000-4-15:2010)

PPA55x1シリーズはクラス唯一のフル・コンプライアンステストに対応し、世界市場に輸出する機種の開発に大きく貢献します。PPA4500シリーズはISO17025校正を実施しています。UKAS対応の校正は英国Newton4th社にて行います。

2. 常時2.2MS/sの高速サンプリング、1MHzの広帯域で確実な高調波測定が可能

全てのモードで常時2.2MS/sの高速サンプリングと1MHzの広帯域をキープしますので、高調波を含んだ電力まで確実に捉えられます。

これにより、基本周波数が広範囲にわたるPWM測定モードや、自動車用の可変速モータ、インバータの開発・評価、電力効率試験、待機電力試験などの測定に大きな威力を発揮します。

特に、待機電力測定 (IEC62301 Ed2) はコンプライアンス・テスト準拠の測定が可能です。

3. IEC61000にも適応するDFT演算方式を採用

DFT演算は、入力される信号の周期に合わせて演算数をコントロールできるため、FFT方式に比べて周波数分析エラーを極力抑えた測定が可能です。

IEC61000規格書にも理想的な高調波測定、インターハーモニクス測定にはDFTで計算することが記載されています。

4. 取りこぼしのない波形処理

ハードウェア、ソフトウェアの構成をFPGAによる並列処理で行っているため、演算処理上のギャップはありません。

ノーギャップ測定なので、急激な電力変化や周波数の変動、回転数の変動にも対応する電力測定が可能です。

PPA55x1シリーズ / PPA4500シリーズの特長の外観



PPA55x1シリーズ外観



PPA4500シリーズ外観 (商品紹介ページは→[こちら](#))

標準価格

PPA5531 (三相モデル)	139万 (税抜き価格)
PPA5511 (一相モデル)	93万 (税抜き価格)
PPA4500 シリーズ	65万から (税抜き価格)

年間販売目標 (受注生産)

PPA55x1シリーズ / PPA4500シリーズ	150台 / 年
---------------------------	----------

発売時期と出荷開始

- 発売日 2014年 3月4日 (火)
- 出荷開始日 2014年 4月1日 (火)

お問い合わせ先

■ お客様

岩通計測株式会社 営業部
〒168-8511 東京都杉並区久我山1-7-41
電話：03-5370-5474 FAX：03-5370-5492

岩通計測株式会社 国際営業課
〒168-8511 東京都杉並区久我山1-7-41
電話：03-5370-5483 FAX：03-5370-5492

岩通計測株式会社 西日本営業所
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-12-38
(ソリトンビル8F)
電話：06-6330-5280 FAX：06-6330-5287

■ メディア関連の方

岩通計測株式会社 営業推進部
〒168-8511 東京都杉並区久我山1-7-41
電話：03-5370-5473 FAX：03-5370-5492

仕様

[PPA4500シリーズのページ](#)をご覧ください。